

### 1. 解決したい課題の内容

- ・浜松市では令和5年度水質調査において、伊佐地川、新川周辺で、国が定める指針値の最大28倍の有機フッ素化合物の値が検出されたことを受け、調査範囲を拡大しながら汚染状況の把握に努めているが、令和6年5月現在未だ汚染範囲全域を把握するには至っていない。
- ・国が示す調査の手引きでは、汚染源特定のために市が調査を行うことが明記されているが、その具体的な方法や技術についての言及は不十分である。
- ・浜松市においては、有機フッ素化合物の汚染状況を把握するために重要な地下水の流向について明確な情報がないため、指針値を超過した地点の周辺を調査対象区域と定め、当該区域の全戸に案内を配布し、対象者からのリアクションにより状況を把握するほかなく、多くの時間と労力を費やしている。

### 2. 実現したい目標について

- ・市内の地下水流向を的確に把握することで、有機フッ素化合物の汚染範囲を迅速に把握したり効果的な汚染除去を行い、時間と労力を削減したい。
- ・地下水流向を把握できれば、別の有害物質の地下水汚染が発生した際も迅速な初期対応が期待でき、効果的に地下水を供給したり流出しないようにする対策が可能となる。

### 3. 必要とする技術について

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・地形や地質データを基に3Dシミュレーションを構築するGETFLOWS(三次元統合型水循環シミュレーション、株式会社地圏環境テクノロジー)技術

### 4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

既存の国土水循環モデルを基に、より精度を増した地下水の流向と深度の把握、拡散状況や将来予測を実証的に実施し、関係者よりフィードバックを得ること等を想定するがこれにこだわらない。

### 5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・浜松市「有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）について」

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kankyoho/env/mizukankyo/pfos-pfoa.html>